



気づき・発見・いろいろ ぱれっと 身近なテーマで、人権問題について考えるコーナーです。

11月25日から12月1日は犯罪被害者週間です

犯罪被害は、いつ誰に起きるかわかりません。犯罪被害にあわれた方やその家族・遺族の方々（犯罪被害者等）が、被害から立ち直り、地域において再び平穩に過ごせるようになるためには、地域の人々の理解と配慮、協力が重要です。大阪市では、「犯罪被害者週間」にあわせて関係機関と連携し、啓発事業を実施します。この週間を機会に犯罪被害へのご理解とご協力をお願いします。



大阪市、大阪府、堺市、大阪府警察、認定 NPO 法人大阪被害者支援アドボカシーセンター連携事業

●「犯罪被害者週間」啓発パネル展

日時：令和4年11月25日(金)～12月1日(木)
大阪市役所および堺市役所開庁時間

場所：大阪市役所 1階正面玄関ホール、堺市役所 高層館1階北側ロビー
内容：被害者団体や支援団体と連携し、パネルなどを展示

●被害者支援シンポジウム「少年犯罪被害者の想い ～少年法改正を受けて～」

日時：令和4年11月26日(土) 13:30～16:00

場所：大阪産業創造館4階イベントホール

内容：

第1部：基調講演『命を奪われた』という事

講師 大久保 巖氏(少年犯罪被害者遺族)

第2部：パネルディスカッション「少年犯罪被害者の想い ～少年法改正を受けて～」

パネリスト 大久保 巖氏、大久保 ユカ氏(少年犯罪被害者遺族)

三宅 清信氏(大阪保護観察所企画調整課長)

杉本 吉史氏(弁護士・大阪被害者支援アドボカシーセンター理事)

定員：会場 先着100人、Web(Zoomウェビナー)視聴 先着400人

申込：「大阪被害者支援アドボカシーセンター」ホームページをご覧ください

●「犯罪被害者週間」キャンペーン

日時：令和4年12月3日(土) 10:00～16:00

場所：イオンモール堺北花田 1階センターコート

内容：犯罪被害者等支援の啓発グッズの配布、音楽演奏 など

【事業の問合せ先】大阪市民政局ダイバーシティ推進室人権企画課

電話 06-6208-7619 FAX 06-6202-7073

大阪府が主催する事業

●講演会「犯罪被害や被害者支援について考える」

日時	テーマ・講師	
	講演①(1時間)	講演②(1時間)
令和5年 1月25日(水) 14:00～16:00	『命を奪われた』という事 講師：大久保 巖氏、 大久保 ユカ氏 (少年犯罪被害当事者の 会会員)	「犯罪被害にあう」ということ ～あなたに知ってほしいこと、 あなたにできること～ 講師：溝江 淳子氏 (認定NPO法人大阪被害者支援 アドボカシーセンター 犯罪被害 相談員)

場所：大阪市立難波市民学習センター 参加費：無料

定員：20人(先着順)

申込：大阪市立難波市民学習センターの窓口、電話、ファックス、「いちようネット」にて受付

【講演会の申込み・問合せ先】大阪市立難波市民学習センター

電話 06-6643-7010 FAX 06-6643-7050

犯罪被害者等支援のための総合相談窓口

大阪市では、「犯罪被害者等支援のための総合相談窓口」を設置し、犯罪被害者等からの相談を受け付けています。

場所：市民局ダイバーシティ推進室人権企画課
(大阪市役所4階北側)

時間：9:00～17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

電話 06-6208-7489 FAX 06-6202-7073

JR平野駅に残る明治時代の鉄柱—旧平野駅跨線橋の部材—

JR平野駅の1番線ホーム東端近くに、高さ約110cm、一辺約20cm四方で、白く塗装された柱があります。近寄って見てみると、鉄製で、枠取りされた一側面に「鐵(鉄)道院」、別の面には「明治四十五年 横河橋梁製作所」の文字が読み取れます。平野駅は民間の大阪鉄道によって明治22(1889)年に開業、その後、政府の主要私設鉄道の買収により明治40(1907)年に国有化されています。そして明治41年12月、帝国鉄道庁に代わって発足したのがここに記された鐵道院です。

では、鐵道院発足の数年後につくられたこの鉄柱は何なのでしょう。答えは、鐵道利用者が線路を越え別のホームに渡るための跨線橋の部材。側面に紀年銘があること、さらに別側面に板状の張出しが付いていることから、この張出しに高欄部材を取り付けた親柱の1つであったと考えられます。同じものが他にないかと探してみますと、JR八尾駅では南口を出たところで街灯の基部として転用されていました。そこには「鐵道院」「大正元年」「横河橋梁製作所」とそれぞれ別面に記されており、残る一面に平野駅と同じ板状の張出しが付いています。明治45(1912)年という年は大正元年となりましたから同じ年につくられたものになります。

そして、どちらにも共通する「横河橋梁製作所」も注目されます。この会社は建築家・横河民輔(1864-1945)が明治40(1907)年に大阪市西区境川(現港区波除一丁目)に設立したものです。横河はそれまで三井総本店など三井グループの建築物の設計を中心におこなっていましたが、地震の多い日本では鉄材の製作や組立ては不可欠なものであると考え、自ら会社を設立しました。

鐵道院は発足後、それまでばらばらであった私鉄各社の施設を整理統一していきます。そうしたなかで建設されたのがこうした跨線橋であったのでしょうか。JR平野駅では昭和59(1984)年に現在の橋上駅舎に建替えられ、それまでの跨線橋は撤去されましたが、今も残るこの鉄柱は鐵道や鐵橋の歴史を伝えてくれています。鐵道開業150年の今年、注目してほしい鉄柱です。

(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)



JR平野駅に残る明治時代の鉄柱



おおさか

歴史探訪

173

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。